

ひょうごの 赤十字



2016.10月
October

平成28年度姫路市総合防災訓練・国民保護訓練に参加
防災の目にちなみ「災害への備え」を紹介
世界の友達と仲良く
我が地域を災害から守るために
献血の必要性を子どもたちが学び実感
患者さんに幸せな時間を
講習のご案内

特集

兵庫県支部初の試み
「50人一斉心肺蘇生」





兵庫県支部“初”の試み 「50人一斉心肺蘇生」

～G7神戸保健大臣会合開催記念ひょうごKOBE医療健康フェアに参加～

9月8～11日、伊勢志摩サミットに関連した関係閣僚会合「G7神戸保健大臣会合」の開催を記念し、国際展示場（神戸市中央区）で開催された「ひょうごKOBE医療健康フェア」に参加。阪神・淡路大震災と東日本大震災、熊本地震災害における当支部の活動と、経験と教訓を基に今後の災害に備える取り組みをパネルで紹介すると共に、心肺蘇生とAEDの使い方を体験いただきました。



最終日には、世界中の人々に救急法を知ってもらう日として赤十字が定める「世界救急法の日」（9月の第2土曜日）の一環として、当支部で初めての試みとなる50人で一斉に心肺蘇生を体験いただくイベントを実施。1分間に100～120回の手拍子に合わせて、強く、早く、絶え間なく、50人が一斉に心肺蘇生を行う姿は圧巻です。「体験できてよかった」「胸骨圧迫は結構大変だった」という感想が聞かれ、心肺蘇生やAEDがどんなものなのか??を知っていただくよい機会となりました。



50人一斉心肺蘇生の「受講記念証」を手に記念撮影。「楽しかった」と感想を話してくれました。



国内災害救護

平成28年度 姫路市総合防災訓練・ 国民保護訓練に参加

「防災の日」の9月1日に広畑公共埠頭にて開催された「平成28年度姫路市総合防災訓練・国民保護訓練」に、姫路赤十字病院の救護班が参加しました。

国・県・市の防災関係機関や医療関係機関、地区連合自主防災会などが参加した大規模なこの訓練は、各関係機関との連携の再確認を目的としています。姫路赤十字病院の救護班も近隣の災害拠点病院や看護協会との医療協力体制を確認することができ、充実した訓練となりました。



国内災害救護

防災の日にちなみ 「災害への備え」を 紹介

9月1日の「防災の日」を前にした8月25日～31日、神戸市地区本部のご協力により、神戸市役所の花時計ギャラリーにパネルなどを展示し、災害に備える当支部の取り組みを見て知っていただきました。当支部では、多様化する災害に備え、今後も体制整備に務めてまいります。



いのちと健康を守る赤十字活動は、皆さまからお寄せいただく活動資金で成り立っています

活動資金にご協力をお願いします



平成28年度
新たな災害救護拠点施設を整備!!
大規模災害に備え、全国各地の被災地への支援や全国からの受援の拠点となる施設の整備を計画しています。(場所:三木市)

郵便局・ゆうちょ銀行からもご協力いただけます

口座記号番号：01110-0-1136
口座加入者名：日本赤十字社兵庫県支部

※窓口で取扱いの場合、振込手数料は無料です。



青少年赤十字

世界の友達と仲良く

～第4ブロック青少年赤十字国際交流事業～

他国の同世代の青少年との交流を通じて広く世界を知り、仲良く助けあう奉仕の精神を養うことを目的とした第4ブロック(近畿2府4県)支部合同の青少年赤十字(JRC)国際交流事業に、8月16～22日、県内JRC加盟校から2人が参加。マレーシアに滞在し、海外メンバーとの交流や現地の赤新月社への訪問、ホームステイなどで異文化への理解を深めました。



参加メンバーの感想：兵庫県立西宮高等学校 松本ゆりかさん

今回参加し、マレーシア赤新月社のユースの活動は幅広く、私たちの活動の狭さを思い知りました。また、海外では、赤新月社や赤十字社が知られていないがために、救援活動の際に攻撃されることもあるという国際赤十字・赤新月社連盟(IFRC)の方の話には大変ショックを受けました。だから、赤十字社や赤新月社の活動を多くの方々を知っていただけるよう、青少年赤十字の仲間を増やし、そして活動の幅を広げられるよう、今後も積極的に活動していきたいと思います。



マレーシア風ミルクティーの入れ方を教えてもらう松本さん



赤十字奉仕団

我が地域を災害から守るために

地域に根ざし活動する赤十字奉仕団では、これまでの災害を教訓に、今後起こりうる災害に備え、地域の防災意識の高揚と災害救護活動のさらなる充実を図る研修や訓練などを行っています。

8/24

西播磨赤十字奉仕団 研修大会

赤穂市立総合体育館にて、西播磨地区(相生市、たつの市、赤穂市、太子町、上郡町、佐用町)赤十字奉仕団員と、小・中・高校生を含む地域住民の方々など約130人が参加し、簡易テント設営や救急法の他、熊本地震でも問題となったエコノミークラス症候群などを予防する「避難所でできる体操」など実践的な知識と技術を学びました。



9/3

香美町赤十字奉仕団 災害救護訓練



香美町立香住文化会館にて、香美町赤十字奉仕団員44人が参加し、簡易テント設営や大釜を使った炊き出し、心肺蘇生とAEDの使い方など、災害時に必要な対処法や手順を確認しました。

参加者からは「毎年参加しても手順を忘れてしまうので、毎年参加することが大切だと実感しました」などの声が聞かれました。

9/7

上郡町赤十字奉仕団 防災学習

支部と協力し、上郡町立山野里小学校3年生の親子約100人に、「親子で防災&食育を学ぼう!」をテーマに、講義や炊き出し用大型釜の組み立て、新聞紙での食器作りなど、災害時に役立つ知識と技術を学んでいただきました。奉仕団の方々には「今まで大災害が無かった上郡町だが今後はわからないので、継続して取り組んでいきたい」と話されていました。





血液事業

献血の必要性を子どもたちが学び実感

～血液センターが「夏休みこども見学会」を開催～



何型かな？と血液型判定セットに興味深々

深刻な若年層の献血離れを止めるため、近未来の輸血医療を支えるであろう小学生の皆さんに輸血のこと、献血のことに少しでも興味を持っていただこうと、兵庫県赤十字血液センターが8月19日に「夏休みこども見学会」を開催しました。見学会には、献血推進にご協力いただいている地元の女子プロサッカーチーム「INAC神戸レオネッサ」から伊藤美紀選手、杉田妃和選手、増矢理花選手の参加もあり、子どもたちと机を並べて一緒に学んでいただきました。

プログラムの中で特に子どもたちを釘付けにしていたのは血液型判定検査の実技で、先生役の職員の話に熱心に耳を傾ける姿が印象的でした。

見学会を終えた子どもたちからは「普段知る機会のないことを学べて良かった」「16歳になったら献血したい」「40分で命が助けられることを知った」などの感想が聞かれ、少しでも興味を持っていただけたのではと感じています。



赤十字病院

患者さんに幸せな時間を

～姫路赤十字病院さわやかコンサート～

8月24日、姫路赤十字病院でさわやかコンサートが開催されました。今回は、高校生までの子どもたちを中心とした弦楽オーケストラ「♪COLORS♪ストリングキッズオーケストラ」の皆さんが出演。「♪COLORS♪」は、近隣の小児病棟への慰問活動も行っておられ、ロビーでの演奏前には小児病棟を訪問。おなじみのジブリアニメやコミカルなクラシックなどの演奏の他、観客がホーンチャイムやマラカスで演奏に参加できたり、クイズがあったりと、工夫を凝らした内容に病棟から出られない子どもたちは大喜びでした。

小児病棟へは中学生以下の入館が禁止されているため、高校生と大人メンバーでの演奏でしたが、その後のロビーでのコンサートには小中学生メンバーも加わり、大河ドラマ「真田丸」のテーマ曲などのダイナミックな曲も演奏され、患者さんをはじめ多くの人に楽しんでいただきました。



小児病棟での演奏の様子

講習のご案内

救急法基礎(1日受講)

11/19^① 12/3^① 13:00~17:30

救急法救急員養成(2日間受講)

12/17^①・18^② 9:30~17:30
※受講対象は基礎講習修了者

科目別講習

講習の一部のテーマを短時間で習得できます。

救急法基礎・救急員養成(3日間受講)

11/20^①・26^①・27^② 12/23^③・24^①・25^② 9:30~17:30

幼児安全法支援員養成(2日間受講)

12/10^①・11^② 9:30~17:30

健康生活支援

災害時高齢者生活支援講習

12/4^① 10:00~12:00

◇申込期日は開催日(初日)の1カ月前までです。 ◇会場は日本赤十字社兵庫県支部です。

お問い合わせは、お電話またはホームページで ☎ 078-241-1499 (講習係)